

足摺宇和海国立公園（足摺地域）

公園計画の変更
（一部変更）

ご説明の流れ

1. 足摺宇和海国立公園について
2. 今回の変更(一部変更)について
3. パブリックコメントの対応について

ご説明の流れ

1. 足摺宇和海国立公園について
2. 今回の変更(一部変更)について
3. パブリックコメントの対応について

足摺宇和海国立公園の概要



黒潮が育む大自然

～豪快優美な海岸線 いのちきらめく森と海～

足摺宇和海国立公園の概要

- 指定：
昭和47年11月10日
- 面積（陸域のみ）：
11,345ha
（愛媛県、高知県）

● 風景形式

隆起海岸の断崖景観と、沈降海岸の海食景観に加え、海食洞、岩礁等が著しく発達した変化に富む海域と、内陸部の山岳・渓谷を含んだ海洋型の国立公園

● 見直しの経緯

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 昭和47年 | 国立公園指定 |
| 昭和54年 | 再検討（足摺地域） |
| 昭和56年 | 一部変更（足摺地域） |
| 平成7年 | 第1次点検（足摺） |
| 同年 | 再検討（宇和海地域（滑床地域を除く）） |
| 平成15年 | 再検討（滑床地域） |
| 平成17年 | 第2次点検（足摺地域）・第1次点検（宇和海・滑床地域） |
| 平成18年 | 一部変更 |



ご説明の流れ

1. 足摺宇和海国立公園について
2. 今回の変更(一部変更)について
3. パブリックコメントの対応について

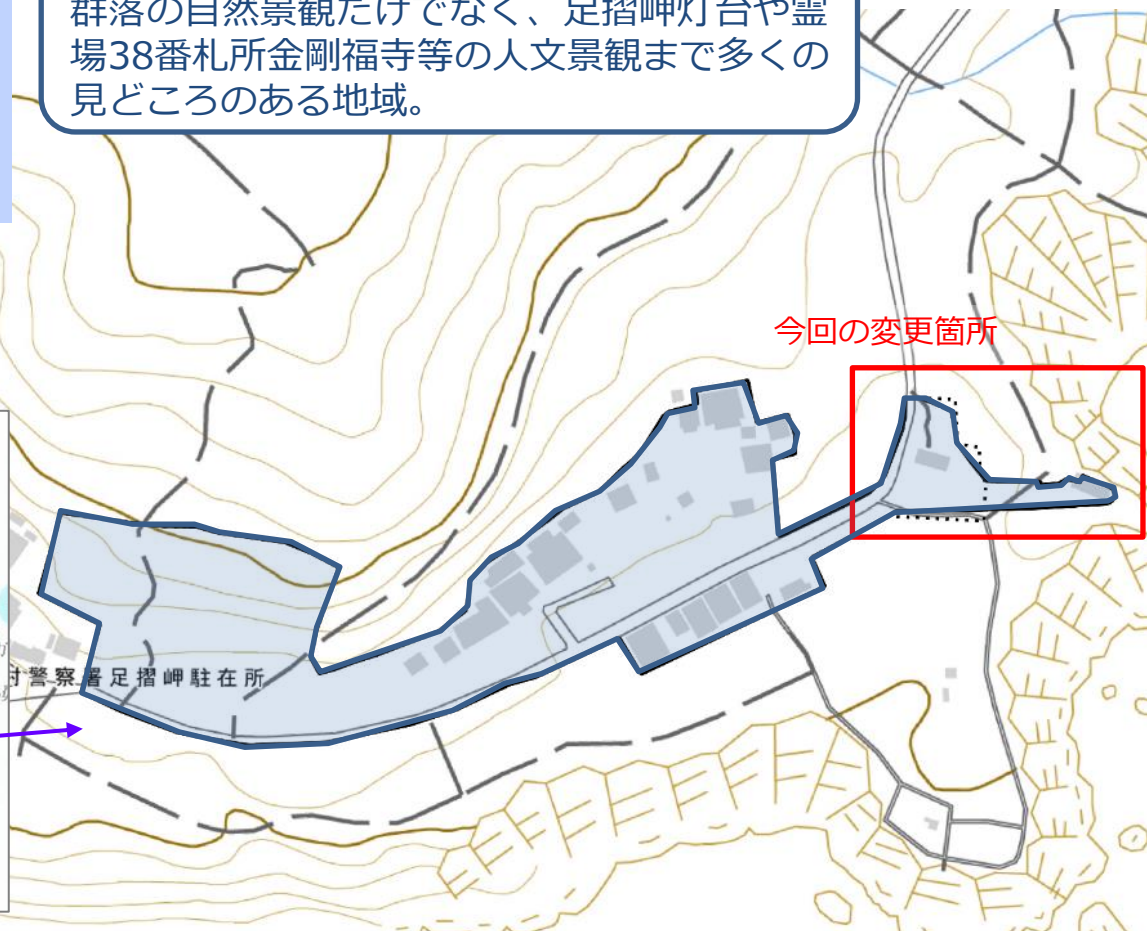
今回の対象地域

足摺岬集団施設地区 (東部整備計画区)

四国最南端に位置し、白山洞門やヤブツバキ群落の自然景観だけでなく、足摺岬灯台や霊場38番札所金剛福寺等の人文景観まで多くの見どころのある地域。

今回の変更箇所

足摺岬集団施設地区



今回の変更内容

● 背景

- 足摺岬は全国的にも著名な観光拠点である一方、それ以外の地域、資源について知名度向上のための情報発信を充実させる必要があるほか、エリアの拠点である足摺岬園地における利用者受け入れ機能の強化、多様な利用者に対応したユニバーサルデザイン化の強化が課題となっていた。
- 展望施設のエリアはもともと単独施設の足摺岬園地の付帯施設として整理されていた。平成7年の公園計画の変更で足摺岬集団施設地区が新設され、足摺岬園地は当該地区内に位置付けられたが、展望施設を含むエリアは区域に含まれておらず、現在四国自然歩道の付帯施設として管理されている。
- 令和3年2月に土佐清水市が「足摺宇和海国立公園足摺エリア利用計画」を策定し、地域の活性化に着手したところ。上質な滞在環境創出のために園地と一体的な再整備が必要。

足摺宇和海国立公園（足摺地域）の計画目標の変更、同地域先端部に位置する足摺岬に設定された「足摺岬集団施設地区」のうち「東部整備計画区」の拡張及び整備方針の変更を行う。



今回の変更内容

足摺岬集団施設地区 計画目標

本地区は、四国最南端に位置する全国的にも著名な足摺岬を中心とする利用拠点である。(中略)また、本地区一帯は四国西南地域で最大の宿泊拠点ともなっており、これら興味対象を求めて訪れる利用者数は年間約70万人にも及ぶ。

このような地区の特性を踏まえ、次の点を計画目標として適切な整備を行うものとする。

①本公園全体の利用拠点として位置づけ、拠点機能の充実を図る。

特に、公園全体の自然や利用についての情報提供の機能強化を図るとともに、誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン化の強化を行う。



西部整備計画区

東部整備計画区

今回の変更内容

東部整備計画区 整備方針

岬先端部に位置する展望台、足摺岬灯台や椿の歩道へ至る導入部にあたる計画区である。

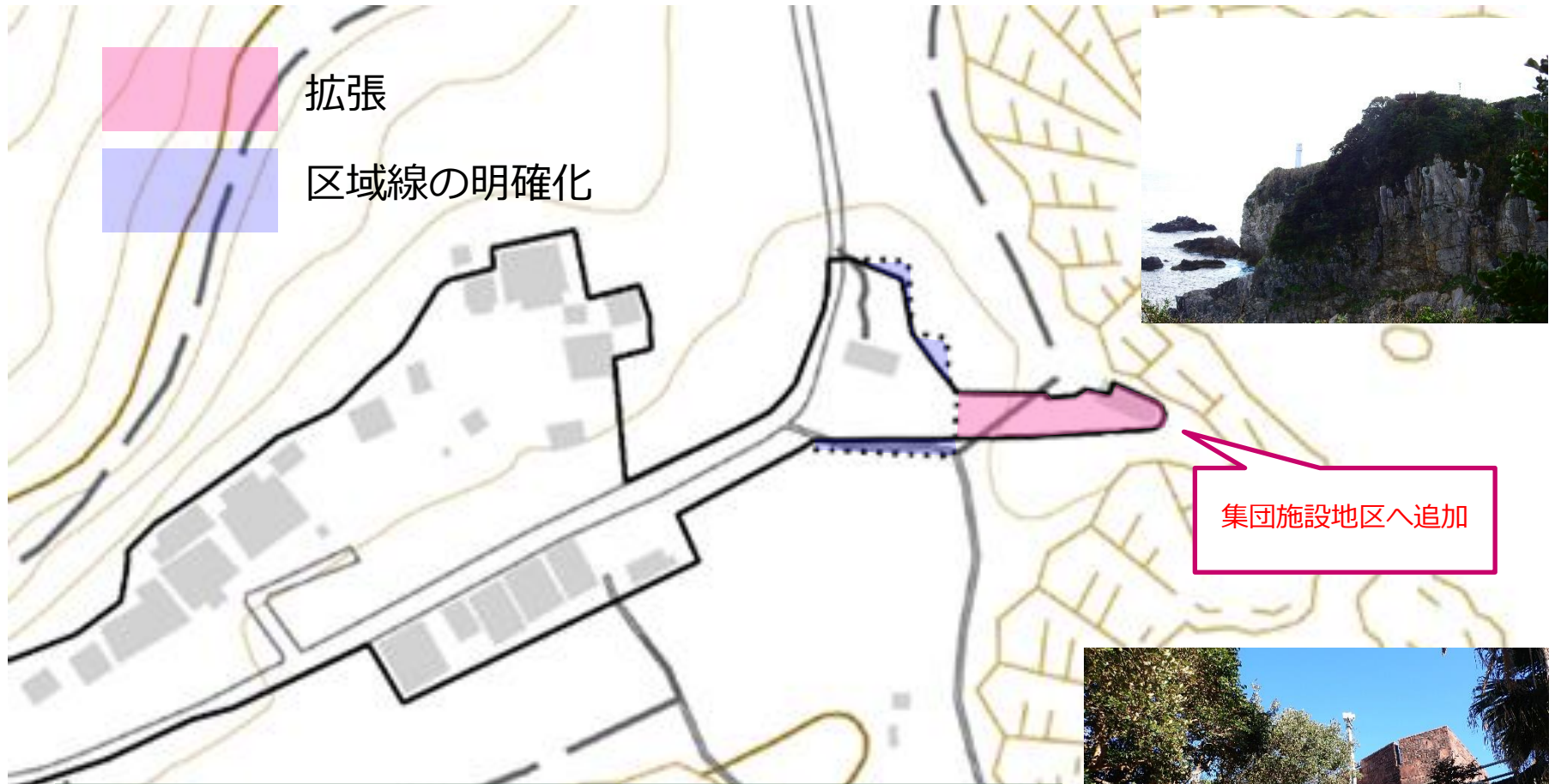
集落から岬先端部への動線沿線については、良好な自然林の保全を図るとともに、周囲の景観との調和及びユニバーサルデザインの観点に留意しつつ、園地、休憩所等を整備する。

なお、駐車場については、原則として現状規模の範囲内で再整備を行う。

車椅子でも足摺岬を眺望できるようなバリアフリー対応の展望デッキの整備を想定



今回の変更内容



足摺岬集団施設地区 東部整備計画区の区域拡張

足摺岬先端部に位置する展望施設を環境省が再整備することと
ともない、既存の集団施設地区に隣接する区域を含めた一体的な
整備を行うため周辺部を拡張するとともに、土地所有に即して区
域線を明確化する。



今回の変更内容

全体整備のコンセプト

● アクセスしやすい園地入口

- ・ 展望台方向にアクセスしやすいよう広い入口空間の整備。
- ・ 複数ルートから展望台へアクセスできるようにするとともに、灯台などとの回遊性を高める。

● 楽しみながら上り下りできるスロープ

- ・ 岬先端（展望台）に至るスロープの形状は、樹木への影響が小さくなるよう配慮。照葉樹林等を間近に観察できるなど新たな楽しみ方を提供する。
- ・ 周辺景観に溶け込むよう柱脚の形状や構造に配慮。

● 岬の景観をより満喫できる展望台

- ・ 270°の眺望を確保。

● 案内サイン

- ・ 乱立や荒廃した案内サインの統廃合、再整備して案内機能の強化。



ご説明の流れ

1. 足摺宇和海国立公園について
2. 今回の変更(一部変更)について
3. パブリックコメントの対応について

パブリックコメントの実施結果

■ 概要

・ 実施期間 令和4年9月1日（木）から9月30日（金）

・ 意見募集の結果 【意見提出数】

電子メールによるもの 計0通

郵送によるもの 計0通

F A Xによるもの 計0通

今回の変更案にかかるもの 計0件